

クラブインフォメーション



発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内



TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和7年3月 第187号

鳥取型障がい者スポーツ推進事業:倉吉サンリンク・スポーツ

[モルック]



[ボッチャ]



[ラダーゲッター]



令和7年2月15日(土)、倉吉サンリンク・スポーツ主催の「鳥取型障がい者スポーツ推進事業※1」(県障がい者スポーツ協会委託事業)で「モルック※2」「ボッチャ※3」「ラダーゲッター※4」を、県立倉吉養護学校体育館で実施しました。

※1 目的:特別養護学校の学校体育施設を拠点として、特別養護学校の在校生及び卒業生、地域住民が、障がいのあるなしに関わらずスポーツの楽しさを共に味わいながら、体力の向上や豊かな生活の実現、共生社会の実現を目指す。

※2 モルックは、モルックと呼ばれる木の棒を投げて、スキttl(木製のピン)の倒れた合計得点が50点ぴったりに得点したチームが勝ちとなるゲームです。

※3 ボッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白い球に、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかにジャックボールに近づけるかを競います。

※4 ラダーゲッターは、両端にボールがついたヒモを、ラダー(はしご)に向かって投げるゲームです。ボールがラダーに引っ掛かるとポイントとなり、そのポイントを競います。21点先取したプレーヤーが勝ち。

今年度最後の「鳥取型障がい者スポーツ推進事業」で、今年度実施した種目の中から3種目を選定し体験していただきました。

どの種目も真剣且つ楽しく対戦いただき、大いに盛り上がりました。運動機会の確保・地域住民との交流のため、今後も引き続き開催出来るといいですね。来年度もたくさんの方の参加をお待ちしています。

連絡先:倉吉サンリンク・スポーツ事務局 杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196
E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

親子で歩こう！スノーウォーキング：(一社)ほうきスマイリースポーツクラブ



一列で林の中へ



親子で仲良く！



登頂成功！

令和7年2月16日(日)、(一社)ほうきスマイリースポーツクラブ主催の「親子で歩こう！スノーウォーキング」を大山青年自然の家の周辺を利用して実施しました。

普段は入ることのない一面雪に覆われた自然のなかを、スノーシュー*を履いて親子で散策しました。低学年の児童や幼児も、初めて履くスノーシューを上手く履きこなし頑張って歩きました。

途中、動物の足跡・鹿の角で木の皮を剥いだ跡など、色々な自然界の様子を指導員の方にお話ししていただきました。

最後に、大山青年自然の家にあるスロープでそり遊びをして楽しみました。

(参加者の感想)

- ・最初は、スノーシューを履いての歩行に慣れず少し大変でしたが、天候も良くジャンパーを脱いで家族みんな楽しく頑張りました。子どもたちは、動物の足跡などが発見できて喜んでいました。
- ・天候もよく雪の中でも歩いていると汗をかきましたが、普段立ち入ることのない林の中の散策は楽しかったです。子どもたちは後半疲れた様子でしたが、最後のそり遊びで再び元気になりました。

※スノーシューは、西洋かんじきとも呼ばれる雪の上を歩くための道具で、歩くのに難しい技術は必要ないので初めての方でもすぐ歩けます。



頑張って上がって！



足跡???



そり遊び



集合写真

連絡先
(一社)ほうきスマイリースポーツクラブ
事務局
西村 香緒里
TEL:0959-68-3775
E-mail:h.smiley.sports@gmail.com

小山英樹さん教育講演会:NPO法人ウルトラスポーツクラブ



講演会の様子(鳥取県立武道館)

令和7年2月23日(日)、NPO法人ウルトラスポーツクラブ主催の「保護者&指導者向けセミナー」が、鳥取県立武道館で開催されました。

- [講師] 小山 英樹さん(株)対話教育研究所代表/日本教育メソッド研究機構代表/日本青少年育成協会理事
著書:「魔法のパパ・ママコーチング」「この1冊でわかる!アクティブラーニング」「教室改革」等
NHK「助けて!きわめびと」、日本テレビ「スッキリ!」等に出演
- [内容] □午前の部:テーマ:「お父さん・お母さん、“あおり運転”しないで!」
□午後の部:テーマ:「伸びる子の親はここを見ている」

午前の部では、子どもの意欲と行動の引き出し方、親子の信頼関係(親子の心が投合する)の築き方、転籍・移籍のリスク、ゆったり過ごす時間の必要性などとても分かりやすく楽しくお話いただきました。

午後の部では、子どものどこを見るか、子どもどこを見るか、どんな風に見たら良いのか、分かりやすくお話いただきました。

今年度は、大山町と伯耆町で活動するサッカークラブの方の参加があり、NPO法人ウルトラスポーツクラブの取組みが広まっていることを嬉しく思います。

子どもに対する大人の関わり方はとても大切です。子どもたちが安心してプレーできる場所を確保するのは大人たちの役割なんだと思いました。



アイスブレイク

連絡先
NPO法人ウルトラスポーツクラブ事務局
金坂 博
TEL:0859-57-5170
E-mail:ultra-cs@sea.chukai.ne.jp

令和6年度総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク) 第2回総会が開催されました

令和7年2月20日(木)、「令和6年度総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)第2回総会」が、JAPAN SPORT OLYMPIC (web併用)で開催されました。

【参加者】 対面 45名、オンライン 86名

【内容】

1 議 事

協議事項

- (1) 令和7年度総合型地域スポーツクラブ育成計画・予算(案)について
→総合型クラブと運動部活動との連携については、令和5年度から令和7年度の3年間を改革推進期間 介護予防タイプ・障がい者のスポーツ推進タイプ(仮称)のタイプ別認証制度の在り方の検討
- (2) 「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2023-2027」の進捗状況について
→クラブ運営に係る支援体制の整備・広報活動の充実等の令和6年度の進捗状況と、令和7年度の取組内容について説明があった。
- (3) 「総合型地域スポーツクラブ全国協議会基本規程」の改定について(クオータ制度導入に伴う改定)
→クオータ制度導入については、令和7年度は各県で議論する期間とし、継続審議ということで来年度総会で決を採る。

2 報 告

報告事項

- (1) 「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」認証制度(部活動の地域展開タイプ)について
→認証申請条件:①登録クラブであること②法人格を有していること③部活動の地域展開における、地域スポーツクラブ活動の運営団体を担っていること
- (2) 「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」の登録基準見直しの進捗状況について
→スポーツ指導者とクラブマネージャーの資格の追加・変更
令和11年度登録認定時までは、本基準が満たされないことを理由に登録を不可とすることはしない。
- (3) SC全国ネットワークの取組について
→企画部会、広報部会、男女共同参画部会から報告
- (4) 令和7・8年度SC全国ネットワーク代表委員の選出状況について
→令和7年2月20日時点での47都道府県代表委員の内女性は8県
- (5) 総合型クラブとスポーツ少年団の連携体制の構築について
→総合型クラブとスポーツ少年団の課題と、連携による効果について報告
第52回日独スポーツ少年団交流(派遣)に総合型クラブが追加され、推薦期限は令和7年3月17日(月)
- (6) 「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」について
→実行会議の中間とりまとめの報告
- (7) 「認証制度」を活用した新たな支援創出に向けた要望について
→認定証やネットから検索とかで認証クラブを知るのではなく、一目見て認証クラブとわかる状況にしてほしい。例えばロゴマーク
- (8) その他
→「子ども性暴力防止法」ができたことを総合型クラブへ周知する。

最後に、日本スポーツ協会の金谷英信部長から、総合型クラブ育成が施策として続いている理由について・今後必要な事について話しがあった。

- ・1995年～現在まで総合型クラブ事業・取組が国レベルで展開されている。
- ・スポーツ振興基本計画、第1期・2期・3期スポーツ基本計画と国の地域スポーツ政策に位置づけられている。
- ・登録・認証制度の意義として、今後も国の地域スポーツ政策に「総合型地域スポーツクラブ」が位置付けられるため、行政としてクラブ育成を行う根拠となる。
- ・国レベル(トップダウン)、市区町村レベル(ボトムアップ)の両面からの行政への働きかけも不可欠
- ・登録するメリットを全国協議会、都道府県連絡協議会とともに創出していくことも必要
- ・「市区町村の行政と関係構築ができてから、今更、日本スポーツ協会の登録・認証は必要ない」などの声を聞くが、「自身のクラブのことが中心になってしまうのは当然だが、少し意識を「自身のクラブを含めた全国の総合型クラブのことに」向けて、総合型クラブが互いに支え合う仕組みとしての「登録・認証制度」であるという認識をもってほしい。

登録・認証制度で総合型地域スポーツクラブの地域住民の認知度向上、行政等の理解に繋がると嬉しいです。



